



「たかしま市民活動フェスタ2023」
参加していただいた皆さん
ありがとうございました！

おむすび たかしま



61

謹賀新年

2024

Winter



オープニングはキッズダンスで華やかに！



懐かしい子ども遊びの体験を楽しんでいただきました



「出会い、つながり、きっかけ」を合言葉として、市民の皆さんに市内で活動する市民活動団体やボランティアグループのことを知っていただき、交流する機会として、「たかしま市民活動フェスタ」を、5年ぶりに11月12日(日)、今津東コミュニティセンターで開催しました。



参加団体の活動内容を紹介

オープニングを飾っていただいたのは、「キッズジュニアダンスチームADGW」の皆さん。会場では、今年のテーマ「みんなどうしてた？ひさしぶりだよ♪全員集合！！」のとおり、市内各所、さまざまな分野で活動されている市民活動団体が一堂に会し、物販や飲食の提供、体験イベントなどを通じて、来場された皆さんとの再会を喜び合い、会場のあちこ

ちで鮮やかな交流の花々が咲いていました。

午後からは、ストリートピアノ体験会やステージ発表が始まり、～Lefa～(リーファ)のお二人によるコンサートへ。フィナーレでは「琵琶湖周航の歌」をみんな



健康やスポーツの体験コーナーも

で合唱し、たくさんの笑顔が生まれました。

この春から、実行委員会の皆さんが話し合っテーマや構成を検討し、参加団体から自分たちの思いが伝わるさまざまなアイデアを企画を持ち寄っていただきました。そのおかげで実現した今回の市民活動フェスタには、多くの皆さんに訪れていただき楽しいひとときになりました。本当にありがとうございました。



フィナーレは、リーファと、よし笛の会、手話サークルの皆さん、そして会場の皆さんで！！



子どもたちのためのチャレンジ企画も



子どもたちに自然の中での遊びの楽しさを伝えたい

1980年代前半、大阪市青少年活動協会で、子どもの自然体験や野外活動リーダー研修などを企画実施していた清水敏行さんと、そこに講師として来られた松井鴻さんが出会い、子どもたちが野遊びの楽しさを体験できる場を始めました。

ここでは、子どもたちだけでなく、かつて自分たちが子どもの頃に里山や小川や野原でたっぷり遊んだシニア仲間も集まり、活動を支えてくれました。

代表の松井さんは、「日本の野遊びの伝統を子どもたちに伝えたい。世代間をつなぐのは遊び。竹トントン、水鉄砲、ドングリゴマ、ブンブンゴマなど、一緒に作って遊び、五感を使って、自然と



「さあ、次は何をして遊ぶか…」作戦会議にも熱が入ります。

の親しみ方を子どもたちに伝えたい」との思いで活動を続けています。

現在の拠点は、メンバーの清水さんが退職後に購入された安曇川町の古民家。月に2、3回、木の実など野遊びの材料集めや打合せをしています。市内の保育園や地域のイベントからも声がかかり、年に数回、野遊び体験の機会を提供しています。「高島は山や湖など自然が身近にある。もつと子どもたちが自然の中で遊びきるような体験を提供したい。子どもたちの集まる機会にはぜひ声をかけてほしい」と清水さん。「自然の中で、子どもが自分で決めて自分でやってみる。自分で発見して驚いて、ワクワクドキドキしながら育つ遊び体験を広めたい」と語ってくれました。

野遊び塾

設立 1980年代前半
 代表 松井鴻
 メンバー数 6名
 住所 高島市安曇川町上古賀 978
 TEL 090-6678-2508 (担当:清水)

はっけん! きらっと市民活動

in たかしま

高島市で活躍するきらっと輝く市民活動団体をご紹介します。

誰でも気軽に集まる場所をつくりたい

フードバンク活動などに参加する中で「子ども食堂」の存在を知った中田一枝さん。子どもたちが安心でき、一緒に食べて話ができる場所を自分もつくりたいという思いで、マキノぬくもり福祉ネットワークに相談されました。そうして、2022年3月、土に学ぶ里研修センターで、「ぬくもり食堂」が始まりました。

ぬくもり食堂が始まり1年が経つ頃、近所の独り暮らしの方が亡くなりました。日頃から隣のおばあちゃんたちが集まる家で、「寂しくなったよ」と聞いた中田さんは、遠方のご家族に「お家を誰でも気軽に集まれる場所として開きたい」と相談され



「パプリカ食堂」は上開田草の根ハウスで毎月第2土曜日に開催予定です。

ました。家の風通しにもなるし、畑も使ってもらえればと貸してもらえることになり、子どもや高齢者など誰でも寄れる場所をつくらうと、楽しく賑やかなイメージで「パプリカ」を設立しました。

11月には、上開田区やマキノ中学校などと連携して「パプリカ収穫祭」を開催。少子高齢化が進む地域で、みんなと一緒に楽しめる時間を作ろうと企画し、地域内外から人が集まる賑やかな秋の一日になりました。現在は新たに「パプリカ食堂」も始まりました。「学校帰りに子どもが寄って宿題したり、夕食を一緒に食べたりできる家になりたい。市外の子たちも、野菜の収穫や自然体験などを楽しんでほしい」と夢は膨らみます。一緒に夢をかなえる仲間を募集中です!

パプリカ

設立 2023年8月
 代表 中田一枝
 メンバー数 6名
 住所 高島市マキノ町上開田 217
 TEL 090-1025-2076

Instagram

 @paprika11052023

高島の元気企業

このコーナーでは、地域に根ざした活動や社会貢献活動をしている企業を紹介しています。

地元の木を生かし、山とまちの接点となり続けたい

松井建設株式会社 代表 松井 公明 さん

父親が創業した工務店を引き継ぎ、後世に残したい伝統の技や暮らしを大事にしたいと、近くの山の木で家を建てる工務店、松井建設株式会社代表の松井公明さんにお話しをお聞きしました。

「晴耕雨読、自然に素直に、素朴を大事にしたいとブランド名を「晴耕舎」とされました。「素」を大切にという思いは、里山で育ち、母が畑で育てた野菜を食べ、井戸水を使い、薪で風呂を温める暮らしの中で、旬の美味しさや自然資源とともに生きる安心感の中で育まれたそうです。

「その昔、先人たちが裏山にある木を使って家を建てていたように、地元のもの地元で生かす地産地生の家を建てることで、地元の人から、木を伐採する人たち、製材所、大工、家を建てたい人までのすべてをつなぐ、山とまちの接点となり続ける工務店でありたい」と松井さん。千年以上も残ってきたお寺や、何代も受け継がれてきた古民家が教えてくれたのは、木を組む建築、シンプルでしなやかだからこそ長持ちする建築の可能性でした。それらを生かすため、家づくりには多くの木材を使う伝統の板倉工法を用い、現在は、家屋の建築にとどまらず、自然素材を活かしての店舗やギャラリー、社寺の建築にも応じられています。

鶺鴒川の湖畔のカフェルヴァンは、木と触れ合えるモデルルームとして、朽木の針畑ベースは、地元の木材を自前で製材するため、薪の製造のため。どの事業も根っこは、高島の自然資本「木」であり、「風景」をふだんの暮らしに届ける会社でありたいと考えておられます。

今、若い人が異業種から転職し、働きたい、学びたいと来られるそうです。若い人が、地域循環や持続可能な家づくり、ものづくりに興味を持ち、暮らし方を探しているのかもしれない。



松井建設株式会社

〒520-0515 大津市八屋戸580

TEL: 077-592-0123

ホームページ: <https://www.matsui.tv/>



ホームページ

たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関して、様々な疑問、相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた質問や相談とその回答についてご紹介します。



気軽に安心して対話ができる、人とつながりができる場を作りたい

Q.

まちの気になること、やってみたいことなど、何でも気軽に安心して対話ができる、人とつながりができる場を作り、そこから何か動き出したい人を応援したり、一緒に進めたいと思っているのですが、どうすればよいでしょうか？

A.

人のつながりが希薄になり、SNSでのつながりであっても、心の孤独、地域コミュニティでの孤立が進んでいます。大人も子どもも、ごちゃまぜで、楽しさとホッとできる場所で、人とのつながりが生まれる場所づくりが求められていると感じます。

先日、コミュニケーションの場をつくりたいという相談がありました。「自治会の無い地域だから気楽に住めるところを選んだ」という人が多い地域ですが、災

害時にはどうすれば…と不安があるとも聞きます。なんでも気になることなどを気軽に話せる場を作りたい」とのことでした。「気軽に話せる」ためには、「美味しいコーヒー」とか、「焼き芋しようか」とか小さな楽しさや遊びの要素を入れておくことも大切です。「何を話してもいいけれど、お話しを否定しないで聞こう」「初めての人を歓迎しよう」といった、ちょっとしたルールを設けておくのも良いでしょう。

ご自宅や、お近くのお店、広場、公民館など、身近なところで、コミュニケーションの場をはじめませんか。

たかしま市民協働交流センターでは、そんな場づくりのお手伝いもしています。ぜひお気軽にご相談ください。

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください！



高齢者の移動手段を考える勉強会

「移動」について関心のある方、お気軽にご参加ください。参加費は無料です。

- 日時：1月15日(月) 13:30～15:30
- 場所：今津東コミュニティセンター 2階 中会議室

<内容>

- ・高島市の公共交通の現状について
- ・住民同士が行う移動支援について最新の法令や制度
- ・民間企業による新しい移動サービスの事例紹介

- お問い合わせ・お申込み：
たかしま市民協働交流センター TEL：0740-20-5758

「居場所についていろいろ語り合う交流会」



「居場所」についていろいろ語り合う交流会
誰の力を借りて、いろいろな話して、スッパリしましょう！

たかしま市民協働交流センターで、昨年から開催している「居場所に関わっている方のための交流会」。

今回は、「場所」としての居場所についてだけでなく、ボランティア活動や趣味のサークルなど、さまざまな「機会」としての居場所についても話し合います。また、皆さんが居場所について日頃思っていることも自由に語り合っただけです。

参加費は無料ですので、お気軽にご参加ください。

- 日時：2月17日(土) 14:00～16:00
- 場所：今津東コミュニティセンター 2階 中会議室
- 定員：20名 (個人の方でもお気軽にご参加ください)
- お問い合わせ・お申込み：
たかしま市民協働交流センター TEL: 0740-20-5758

ここから
お申し込みが
できます→



令和6年4月発行予定の62号から、当情報誌の紙面構成を見直します。環境等への負荷に配慮しながら、より読みやすく楽しい紙面を目指します。どうぞご期待ください。

編集後記 市内でたくさんのイベントが開催され、たくさんの笑顔が生まれた秋の高島。皆さんもお出かけになられましたか？ 私たちも「たかしま市民活動フェスタ2023」を通じて、たくさんの笑顔に会うことができました。新しい年もまた、たくさんの笑顔が生まれ、出会えるような仕事をしていきます。

2024年も引き続き私たち「たかしま市民協働交流センター」をよろしくお願ひします！(K)

超高齢社会体験ゲーム

「コミュニティコーピング」を体験しよう！

いろいろな人がつながって、1人ひとりの困りごとや孤独・孤立の解決をゲームで体験します。

人口減少と高齢化が進んでも、安心して暮らせるまちのヒントが見えてきます。ゲーム体験後には、みんなで自分たちにできることを対話しましょう。

- 日時：2月12日(月・振替休日) 13:30～16:00
- 場所：安曇川公民館：ふじのきホール
- 参加費：¥500 (高校生以下無料)
※ 先着50名
- お問い合わせ・お申込み：
たかしま市民協働交流センター TEL: 0740-20-5758



↑
ここから
お申し込み
できます

- 託児サービスがご利用できます。
ご希望の方は、2月5日までにお知らせください。

本好き集合! 「みんなの本棚」整理のご案内



今津東コミュニティセンター1階にある「みんなの本棚」は、誰かに読んでほしいと思う本、読み終わった本を持って来て、気になる本、読みたい本を持って帰る。本の交換の仕組みです。

一年に一回、本の整理と茶話会をしています。本好きな方、ぜひご参加ください。

- 日時：2月23日(金・祝) 14:00～15:30
- 場所：今津東コミュニティセンター 1階 談話室
- 参加費：¥100 (お茶菓子代、持寄り歓迎)

当日参加もOKです。ぜひお立ち寄りください！

- お問い合わせ・お申込み：
今津東コミュニティセンター TEL: 0740-22-3222
たかしま市民協働交流センター TEL: 0740-20-5758



「シャプラニール＝市民による海外協力の会」
ホームページ

★整理した本は「シャプラニール＝市民による海外協力の会」へ寄付されます。南アジアの子どもたちの教育支援や女性の職業訓練などの活動へ活用されます。



発行：たかしま市民協働交流センター
(委託運営：NPO法人コミュニティねっとわーく高島)

T520-1622 高島市今津町中沼1丁目4-1
(今津東コミュニティセンター内)

TEL: 0740-20-5758 FAX: 0740-20-5757

E-mail : webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

ホームページ : http://tkkc.takashima-shiga.jp/

ブログ : https://tkkc.shiga-saku.net/

Facebook : https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/

<メルマガ会員募集！市民活動情報をお届けします>

お問い合わせ
フォーム



ホームページ

